



(様式第 9)

東海大医総第 12-310号  
平成 24 年 10 月 5 日

関東信越厚生局長 殿

学校法人 東海  
開設者名 理事長 松前

東海大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	125 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	506人	18.5人	524.5人	看護補助者	157人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	2.0人	20.0人	理学療法士	19人	臨床検査技師	135人
薬剤師	51人	0.7人	51.7人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	19人	0人	19.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	933人	29.0人	962.0人	臨床工学技士	23人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	6人	0人	6.0人	歯科技工士	1人	事務職員	197人
管理栄養士	11人	0人	11.0人	診療放射線技師	66人	その他の職員	0人

(注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	781人	15人	795人
1日当たり平均外来患者数	2611人	95人	2706人
1日当たり平均調剤数		1,637 剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	76人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	67人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	93人	・原発性胆汁性肝硬変	44人
・全身性エリテマトーデス	392人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	31人
・再生不良性貧血	101人	・混合性結合組織病	60人
・サルコイドーシス	45人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	21人	・特発性間質性肺炎	30人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	177人	・網膜色素変性症	24人
・特発性血小板減少性紫斑病	152人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	42人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	254人	・神経線維腫症	0人
・大動脈炎症候群	29人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	21人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	53人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	98人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	18人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	254人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・後縦靭帯骨化症	60人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	57人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	18人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	28人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	62人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
パンデミック予防のための鳥追跡を目的としたICT技術の統合開発研究	中島 功	救命救急医学	2,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
慢性腎臓病進行の機序	松阪 泰二	腎・代謝内科学	7,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
活性化髄核細胞移植療法による椎間板変性抑制・細胞保存法の確立と安全性の検討	持田 譲治	整形外科学	3,600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
両側分離型トレッドミルを用いた歩行解析による転倒予防への基礎研究	正門 由久	リハビリテーション科学	2,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
幅広い抗菌活性を持つ培養皮膚の開発	猪口 貞樹	救命救急医学	500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
嚥下時の舌骨・喉頭挙上を改善する開口訓練の開発	小山 祐司	リハビリテーション科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
体液中パラコート、グリホシネート、有機リンの固相抽出と一斉分析法の確立	斉藤 剛	救命救急医学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
心筋梗塞の発症にかかわる血小板活性化におけるミトコンドリアの役割の研究	後藤 信哉	循環器内科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
腹膜透析被嚢性腹膜硬化症の機序解明と予防薬開発	角田 隆俊	腎・代謝内科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
高学習能を有するラットを用いた化学物質の次世代影響に関する研究	吉井 文均	神経内科学	500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
胎児羊膜系が関与する妊娠維持機構の解明	石本 人士	産婦人科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
紫外線による酸化ストレス傷害にตอบสนองするシグナル伝達抗酸化システムの役割	小澤 明	皮膚科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
脊髄損傷2次障害に対するG-CSF・S-CF併用療法(小胞体ストレス応答の解析)	渡辺 雅彦	整形外科学	500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ケタミンによる精神症状とDセリン代謝関連酵素遺伝子発現との関係	竹山 和秀	麻酔科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ザクロ果汁の抗ヘリコバクター・ピロリ作用に関する研究	松嶋 成志	総合内科	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
医療用携帯電話の細菌汚染と使用背景に関する調査研究	金子 明寛	口腔外科学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
漢方薬の分子基盤の構築と臨床応用	新井 信	東洋医学寄付講座	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
胆汁うっ滞治療薬開発を目的とした胆汁分泌機構の包括的解析	加川 建弘	消化器内科学	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
イヌ梗塞モデルにおけるⅢ群抗不整脈薬が左室質壁性再分極に及ぼす検討	吉岡 公一郎	循環器内科学	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
臨床応用を考慮したRNA干渉法による副甲状腺ホルモン産生制御法の開発	田中 礼佳	腎・代謝内科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
照射中の監視追従可能なライナック定位手術的照射用高精度画像誘導照射法の開発	国枝 悦夫	放射線治療科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
骨格筋由来多能性幹細胞移植と生体吸収チューブを用いた末梢神経再生	内山 善康	整形外科	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
精神的ストレスが口腔神経因性疼痛に与える影響と唾液腺におけるBDNF発現について	太田 嘉英	口腔外科学	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
口腔扁平上皮癌における癌幹細胞関連分子群の役割	山崎 浩史	口腔外科学	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
カルシウムイオンナノレベルイメージングによる血小板内活性化機能に関する研究	田村 典子	循環器内科学	4,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
皮膚筋炎発症におけるCADM-140抗原(MDA5)の病因的役割の追究	佐藤 慎二	リウマチ内科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
腎障害の進展における抗酸化防御機構の関与	新村 文男	小児科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
軽度認知機能障害から認知症への移行を臨床情報と画像所見から予測する識別器の作成	橋本 順	画像診断学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
肺癌治療に直結する因子としてのSUVmax定量性確立と多数の定位治療例による検証	武田 篤也	放射線治療科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
過去症例のCT及び3D線量分布変形手法による重複再照射許容性の定量的評価法の確立	秋庭 健志	放射線治療科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
消化器癌の血清DNA断片を標的とした悪性度に関する遺伝子診断法の基礎的臨床的検討	小澤 社治	消化器外科学	2,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
MRI情報に基づいた脳腫瘍に対する温熱・化学療法の創生	松前 光紀	脳神経外科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
Dセリン代謝関連酵素とモルヒネ鎮痛耐性形成との関連に関する研究	伊藤 健二	麻酔科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
子宮腫瘍(体癌・頸癌)及び子宮内膜における糖鎖発現・機能とその臨床応用	三上 幹男	産婦人科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
子宮体部明細胞腺癌における新たな発癌プロセスと創薬	平澤 猛	産婦人科学	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
Divided attentionの障害に対する評価法の開発	豊倉 穰	リハビリテーション科学	600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
放射線肺臓炎に対する幹細胞移植療法の開発	玉井 好史	放射線治療科学	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
スフェロイド細胞複合体による関節軟骨修復効果	佐藤 正人	整形外科科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
危機管理対策 鳥類のバイタルサインを信号処理する研究	中島 功	救命救急医学	2,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
リポソーム封入ヘモグロビンによる気管支断端における創傷治癒促進効果の検討	武市 悠	呼吸器外科学	1,800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
腎細胞癌に対する腫瘍特異的DDSの開発	小路 直	泌尿器科学	191,600	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
RNA干渉法による二次性副甲状腺機能亢進症進展に関する病態の解析	金井 巖太	腎・代謝内科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
FOCUSSを用いたMRI高速撮像法の画質改善	森口 央基	画像診断学	600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
椎間板内在性幹細胞の由来、ニッチ環境の解析から新規治療法への応用	酒井 大輔	整形外科科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
術後痛におけるD体アミノ酸の作用に関する研究	松田 光正	麻酔科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
重粒子線を用いた致死性心室性不整脈の新規治療開発	網野 真理	救命救急医学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
臨床疫学及び医療経済学に基づく二次性副甲状腺機能亢進症の治療戦略確立	駒場 大峰	腎・代謝内科学	1,800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
川崎病の冠動脈病変と酸化ストレス	菅沼 栄介	小児科学	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費助成事業
新生仔低酸素脳症の治療法としての大気圧プラズマの有用性	近藤 朱音	産婦人科学	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費助成事業
細胞シートによる関節軟骨損傷治療法の開発	小久保 舞美	整形外科学	1,300,000	補 委	文部科学省 科学研究費助成事業
神経因性疼痛におけるDセリンの作用	伊藤 美保	麻酔科学	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費助成事業
シアン化合物中毒に対する新たな全合成解毒剤に関する研究	山際 武志	救命救急医学	1,800,000	補 委	文部科学省 科学研究費助成事業
自家骨髄間葉系幹細胞により活性化された椎間板髄核細胞を用いた椎間板再生研究における細胞、組織の安全性、品質確保に関する技術開発	持田 譲治	整形外科学	29,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
細胞シートによる関節治療を目指した臨床研究	佐藤 正人	整形外科学	45,314,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
統合医療を推進するための日本伝統医学の標準化	新井 信	東洋医学寄付講座	13,714,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
RSウイルス気道感染予防によるアトピー型気管支喘息の発症抑制効果に関する研究	望月 博之	小児科学	10,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
慢性突発性血小板減少紫斑病(ITP)に対するリツキシマブの有効性と安全性の検討を目的とした第Ⅲ相オープンラベル試験	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
健康診査事業の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究	望月 博之	小児科学	5,060,000	補 委	独立行政法人環境再生保全機構
次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発(細胞シミュレーションプラットフォームを血栓)	後藤 信哉	循環器内科学	13,510,000	補 委	文部科学省
進行肝胆膵がんの治療法の開発に関する研究	峯 徹哉	消化器内科学	120,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター
高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究(リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究)	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	1,100,000	補 委	独立行政法人国立がん研究センター

計 61

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
HUMAN SCIENCE	関節軟骨を機能に基づいて正しく評価するために	佐藤 正人	整形外科
日本産科婦人科学会神奈川地方部会誌	同一卵巣内に子宮内膜症性嚢胞と未熟奇形種が共存した1例	鈴木 隆弘	産婦人科学
日本歯科医学会誌	歯周基本治療における細菌叢変化と治療の指標となる細菌の検討	金子 明寛	口腔外科学
Heart View	虚血性心疾患	後藤 信哉	循環器内科学
Clinical Journal of Gastroenterology	Intrahepatic cholangiocellular carcinoma and hepatocellular carcinoma developed after a 6-year sustained virological response to interferon therapy for chronic hepatitis C	渡辺 勲史	消化器内科学
Oncology Reports	Stage II/III cancer of the rectosigmoid junction: An independent tumor type?	向井 正哉	消化器外科学
The Journal of Investigative Dermatology	Meta-Analysis Confirms the LCE3C-LCE3B Deletion as a Risk Factor for Psoriasis in Several Ethnic Group and Finds Interaction with HLA-Cw6	馬淵 智生	皮膚科学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口蓋扁桃に発生した髄外性形質細胞腫の1例	大上 研二	耳鼻咽喉科学
Tokai J Exp Clin Med.	Surgical Management of Vulvar Lymphangioma Circumscriptum: Two Case Reports	池田 仁恵	産婦人科学
Circulation Journal	One-Year Cardiovascular Event Rates in Japanese Outpatients With Myocardial Infarction, Stroke, and Atrial Fibrillation: -Results From the Japan Thrombosis Registry for Atrial Fibrillation, Coronary, or Cerebrovascular Events (J-TRACE)-	後藤 信哉	循環器内科学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Analysis on Pathos for Elderly Patient's Care--- VR to VR system linkage via Broadband Circuit ---	中島 功	救命救急医学
Annals of Cancer Research and Therapy	A case of severe biliary stenosis after cholecystectomy and hepatoduodenal ligament lymph node dissection for early gallbladder cancer	西 隆之	消化器外科学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Light-Reflex Measurements Implemented with Laplacian Filter	中島 功	救命救急医学
整形・災害外科	手関節掌側の切創により手部壊死を生じた1例	小林 由香	整形外科
Heart View	抗凝固療法と抗血小板療法: ころばぬ先の杖として	後藤 信哉	循環器内科学
神経治療学	脳機能回復促進音楽療法の紹介	吉井 文均	神経内科学
そこが知りたい 抗血栓療法	冠動脈疾患	後藤 信哉	循環器内科学
そこが知りたい 抗血栓療法	一般臨床になぜ抗血栓療法が必要か?	後藤 信哉	循環器内科学
そこが知りたい 抗血栓療法	経口抗凝固薬使用の実際と注意	後藤 信哉	循環器内科学
Tokai J Exp Clin Med	Significant Relationship between Platelet Activation and Apnea-hypopnea Index in Patients with Obstructive Sleep Apnea Syndrome	吉井 文均	神経内科学
胸部外科	虚血性心筋症に対する外科治療戦略の検討 -左室形成術, 僧帽弁手術, 不整脈手術による多角的アプローチ-	長 泰則	心臓血管外科学
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	European physicians don't like cytoprotective agents?	後藤 信哉	循環器内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Appl Physiol	Muscle fatigue-induced enhancement of corticomuscular coherence following sustained submaximal isometric contraction of the tibialis anterior muscle.	正門 由久	リハビリテーション科学
Lasers in Surgery and Medicine	The influence of Ho:YAG laser irradiation on intervertebral disc cells	佐藤 正人	整形外科科学
Digestive Surgery	Prognostic Significance of Morphological Distribution of Metastatic Foci in Lymph Nodes with Gastric Cancer	中村 健司	消化器外科学
日本遠隔医療学会雑誌	路面凹凸による車両振動に起因する雑音等価角を考慮した陸上移動体衛星通信システムの追尾アンテナ性能評価	中島 功	救命救急医学
Analytical Sciences	Mix-mode TiO-C18 monolithic spin column extraction and GC-MS for the simultaneous assay of organophosphorus compounds and glufosinate, and glyphosate in human serum and urine	斉藤 剛	救命救急医学
日本整形外科スポーツ医学会雑誌	低出力超音波パルス療法にて早期骨癒合が得られた跳躍型脛骨疲労骨折の1例	内山 善康	整形外科科学
Tokai J.	A case of pericecal hernia with a hernial orifice located on the lateral side of the cecum	西 隆之	消化器外科学
臨床麻酔	人工心肺中の血糖値の推移 -レミフェンタニルとフェンタニルの比較-	金田 徹	麻酔科学
麻酔	Press through packageによる声門下異物摘出の麻酔経験	西山 純一	麻酔科学
Oncologist	FDG-PET/CT Compared with Conventional Imaging in the Detection of Distant Metastases of Primary Breast Cancer	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Using 3D maps as mobile communication profiles and for ambulatory applications-Prototype of 3D map of Yokohama Yamashita Park and vicinity -	中島 功	救命救急医学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Study on New Ku-band Data Collection Satellite to Track Avian Influenza	中島 功	救命救急医学
がん救急マニュアル	肺塞栓症	後藤 信哉	循環器内科学
Analytical and Bioanalytical Chemistry	Monolithic spin column extraction and GC-MS for the simultaneous assay of diquat, paraquat, and fenitrothion in human serum and urine	斉藤 剛	救命救急医学
CLINIC magazine	本格化する国際共同治験と日本 -循環器領域大規模臨床試験の経験から-	後藤 信哉	循環器内科学
分子脳血管病	脳卒中の登録・観察研究 EVEREST	後藤 信哉	循環器内科学
関東整形外科災害外科学会雑誌	椎弓根スクリューを併用した前後合併手術により加療した頸椎脱臼骨折の3例	長井 敏洋	整形外科科学
分子脳血管病	脳卒中の登録・観察研究 J-TRACE	後藤 信哉	循環器内科学
Oncology Letters	Anal function-preserving subtotal intersphincteric resection/partial external sphincteric resection with hybrid 2-port hand-assisted laparoscopic surgery (Mukai's operation) for very low stage I rectal cancer: A case report.	向井 正哉	消化器外科学
Clin Exp Hypertens	Effects of Multiple Factorial Intervention on Ambulatory BP Profile and Renal Function in Hypertensive Type 2 Diabetic Patients with Overt Nephropathy - A Pilot Study.	鈴木 大輔	腎・代謝内科学
Oncology Reports	Occult neoplastic cells in the lymph node sinuses and recurrence/metastasis of stage III/Dukes' C colorectal cancer.	向井 正哉	消化器外科学
The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	Effect of Endothelin a Receptor Antagonist on Hepatic Hemodynamics in Cirrhotic Rats. Implications for Endothelin-1 in Portal Hypertension.	渡辺 勲史	消化器内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology Reports	Is the T1/2N1(≤3 nodes) category actually stage IIIA(TMN)/IIIA(Japanese classification) in patients with primary colorectal cancer?	向井 正哉	消化器外科学
Surg Today	Nonfunctioning pancreatic endocrine tumor with extension into the main pancreatic duct: report of a case	矢澤 直樹	消化器外科学
ONCOLIGY LETTERS	Surgical resection using retroperitoneal approach for solitary fibrous tumor in the pelvis	小路 直	泌尿器科学
Current Therapy	抗トロンピン薬	後藤 信哉	循環器内科学
Current Therapy	抗血小板か,抗凝固か,血栓溶解か	後藤 信哉	循環器内科学
The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	A Case of Pervasive Developmental Disorder Complicated by Social Anxiety Disorder Responding Well to Fluvoxamine Therapy	矢野 広	精神科学
Tokai J Exp Clin Med	Emergency Upper Gastrointestinal Endoscopy in the Emergency Room of Tokai University Hospital	松嶋 成志	消化器内科学
Acta Histochemica et Cytochemica	Analysis of mTOR Inhibition-Involved Pathway in Ovarian Clear Cell Adenocarcinoma	三上 幹男	産婦人科学
整形・災害外科	ナノ秒パルスレーザーによる鏡視下関節軟骨の機能評価	佐藤 正人	整形外科
Journal of American Society of Nephrology	Autophagy Protects the Proximal Tubule from Degeneration and Acute Ischemic Injury	新村 文男	小児科学
Journal of Invasive Cardiology	Successful Transradial Intervention by Switching from 6Fr to 5Fr Guiding Catheter.	松陰 崇	循環器内科学
American Heart Journal	Rationale and design of the Anti-Xa Therapy to Lower cardiovascular events in Addition to standard therapy in Subjects with Acute Coronary Syndrome..	後藤 信哉	循環器内科学
総合リハビリテーション	手根管症候群の神経伝導検査における各種検査法の感度の比較	栃倉 未知	リハビリテーション科学
Circulation Journal	Major venous anomalies are frequently associated with horseshoe kidney	市川 珠紀	画像診断学
日本皮膚科学会雑誌	頻回の再燃を繰り返すdrug-induced hypersensitivity syndromeの1例	加藤 正幸	皮膚科学
Heart View	虚血性心疾患	後藤 信哉	循環器内科学
Journal of Invasive Cardiology	Successful Transradial Intervention Two Lesions Dual Anomalous Origins Coronary Arteries.	松陰 崇	循環器内科学
臨床と研究	血栓溶解,抗血小板療法	後藤 信哉	循環器内科学
CARDIAC PRACTICE	新しい抗血栓療法	後藤 信哉	循環器内科学
Therapeutic Research	Efficacy and Safety of Long-term and High dose Treatment with Ropinirole (ROP) in Japanese Patients with Parkinson's Disease : LEAD-PD Study	吉井 文均	神経内科学
Internal Medicine	Pramipexole reduces the prevalence of fatigue in patients with Parkinson's disease.	吉井 文均	神経内科学
Cardiovasc Drugs Ther	Prospective Cohort Study of Gastrointestinal Complications and Vascular Diseases in Patients Taking Aspirin:Rationale and Design of the MAGIC Study	後藤 信哉	循環器内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine	Case report; A case of Fabry's disease suspected based on echocardiographic findings	松陰 崇	循環器内科学
ICG2011	A Development of Network Topology of Wireless Packet Communications for Disaster Situation with Genetic Algorithms or with Dijkstra's,	中島 功	救命救急医学
Cardiovascular Anesthesia	リスクマネージメントから見たモニターの意義と問題点	西山 純一	麻酔科学
Oncologist	Initial staging impact of fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography in locally advanced breast cancer.	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Study on Required Channels for Satellite Communications to Support Early-stage Telemedicine after Major Disaster	中島 功	救命救急医学
The 7th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA2011)	Patent Issues in Telemedicine, especially in developing countries	中島 功	救命救急医学
乳癌の臨床	乳癌とヨガ	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学
Journal of Neurosurgery Spine	Clinical Features of the Extension Teardrop Fracture of the Axis: review of 13 cases	渡辺 雅彦	整形外科
Journal of Separation Science	Simultaneous extraction of acidic and basic drugs from urine using mixed-mode monolithic silica spin column bonded with octadecyl and cation-exchange group	斉藤 剛	救命救急医学
熱傷	ヒートプレス損傷の5例	宮坂 宗男	形成外科学
日本遠隔医療学会雑誌	グローバル化と遠隔医療	中島 功	救命救急医学
日本遠隔医療学会雑誌	21世紀保健指導者養成コース15年間の経験と遠隔医療セッション	中島 功	救命救急医学
日本遠隔医療学会雑誌	街路樹の葉が衛星通信の伝搬に及ぼす影響に関する基礎研究	中島 功	救命救急医学
Lasers in Surgery and Medicine	A Diagnostic System for Articular Cartilage Using Non-Destructive Pulsed Laser Irradiation	佐藤 正人	整形外科
日本遠隔医療学会雑誌	最近の政策展開 ユニバーサルサービスファンドと遠隔医療	中島 功	救命救急医学
臨床麻酔	第一第二鯉弓症候群の麻酔経験	西山 純一	麻酔科学
Analytical Methods	Monolithic silica with HPLC separation and solid phase extraction materials for determination of drugs in biological materials	斉藤 剛	救命救急医学
Prostate Cancer - Diagnostic and Therapeutic Advances	A Review of Quality of Life Following Treatments for Localized Prostate Cancer	小路 直	泌尿器科学
American Heart Journal	International Longitudinal Registry of Patients With Atrial Fibrillation at Risk Of Stroke: GARFIELD (Global Anticoagulant Registry in the FIELD)	後藤 信哉	循環器内科学
The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	Syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone caused by pituitary macroadenoma with hemangiomas	佐藤 温洋	内分泌内科学
Radiother Oncol	The maximum standardized uptake value (SUVmax) on FDG-PET is a strong predictor of local recurrence for localized non-small-cell lung cancer after stereotactic body radiotherapy (SBRT)	國枝 悦夫	放射線治療科学
Journal of Infection and Chemotherapy	Disseminated mucormycosis infection after the first course of dose-modified R-EPOCH for advanced-stage lymphoma	伊藤 正仁	総合内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属学部門
日本皮膚科学会雑誌	尋常性乾癬乾癬爪病変に対するビタミンD3ローション外用療法の有用性の検証	赤坂江美子	皮膚科学
Journal Dermatology	A novel case of nocardiosis with skin lesion due to Nocardia araoensis.	赤坂江美子	皮膚科学
European Cells and Materials	Transplantation of scaffold-free spheroids composed of synovium-derived cells and chondrocytes for the treatment of cartilage defects of the knee	佐藤 正人	整形外科
Oncology Letters	Definitive chemoradiotherapy of limited-disease small cell lung cancer: Retrospective analysis of new predictive factors affecting treatment results	小松 哲也	放射線治療科学
Jpn J Rehabil Med	Paralytic conditionにおける呼吸リハビリテーション	花山 耕三	リハビリテーション科学
THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE	A Case in Which Tranilast Ophthalmic Solution Was Thought to Be Effective for the Prevention of Symblepharon and Recurrence after Pterygium Surgery	河合 憲司	眼科学
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Aberrant kinetics of Bone Marrow-Derived Endothelial Progenitor Cells in the Murine Oxygen-Induced Retinopathy Model	河合 憲司	眼科学
Journal of Medical Microbiology	A case of scrub typhus with acalculous cholecystitis, aseptic meningitis and mononeuritis multiplex	高木 教司	総合内科学
Neurologia medico-chirurgica	Glioblastoma Associated With Intratumoral Abscess Formation	松前 光紀	脳神経外科学
糖尿病	糖尿病性腎症に併発した急速進行性糸球体腎炎の1例	木村 守次	腎・代謝内科学
日本大腸肛門病学会雑誌	I型大腸癌様の形態を呈した卵巣癌の上行結腸転移の1例	貞廣 莊太郎	消化器外科学
Journal of clinical oncology	Loss of Human Epidermal Growth Factor Receptor 2 (HER2) Expression in Metastatic Sites of HER2-Overexpressing Primary Breast Tumors.	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学
ACUTE CORONARY SYNDROMES	PAR1 Inhibitors in ACS	後藤 信哉	循環器内科学
薬局	新規経口抗凝固薬	後藤 信哉	循環器内科学
血栓と循環	CYP2C19 機能欠変異保持者およびPPI服用者におけるクロピドグレル服用症例の心血管イベントリスク	後藤 信哉	循環器内科学
New England Journal of Medicine	Rivaroxaban in Patients with a Recent Acute Coronary Syndrome	後藤 信哉	循環器内科学
Endoscopy	Double-balloon endoscopy versus magnet-imaging enhanced colonoscopy for difficult colonoscopies, a randomized study	鈴木 孝良	消化器内科学
J Am Soc Nephrol	Podocyte injury damages other podocytes.	松阪 泰二	腎・代謝内科学
日本レーザー医学会誌	光が皮膚に与える影響	今川孝太郎	形成外科学
日本臨床外科学会雑誌	ソマトスタチンアナログが奏功した術後乳糜腹水の3例	向井 正哉	消化器外科学
関東整形災害外科学会誌	50歳以下の臼蓋形成不全を伴った二次性変形性股関節症の中期治療成績	海老原吾郎	整形外科
日本医師会雑誌	しびれの臨床 脊髄・末梢神経絞扼性疾患	持田 譲治	整形外科

題名	題名	発表者氏名	所属部門
日本気管食道学会会報	気管切開中の電気メスによる引火、気管熱傷症例	大上 研二	耳鼻咽喉科学
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定について	花山 耕三	リハビリテーション科学
International Journal of E-Health and Medical Communications	Expected Communications Technology to Track Avian Influenza and Related the Statement of Appeal by ITU-D SG2 Q14	中島 功	救命救急医学
International Review of Thrombosis	アテローム血栓症(ATIS)の現状—治療実態の地域差—	後藤 信哉	循環器内科学
Pediatr Res	Induction of podocyte-derived VEGF ameliorates podocyte injury and subsequent abnormal glomerular development caused by puromycin aminonucleoside.	松阪 泰二	腎・代謝内科学
J Appl Physiol. 2011 May;110(5):1233-40. Epub 2011 Mar 10.	Muscle fatigue-induced enhancement of corticomuscular coherence following sustained submaximal isometric contraction of the tibialis anterior muscle.	正門 由久	リハビリテーション科学
Clinical Therapeutics	Efficacy and safety of additional 200-mg dose of Celecoxib in adult patients with postoperative pain following extraction of impacted third mandibular molar : A multicenter, randomized, Double-blind, placebo-controlled, phase II study in Japan.	金子 明寛	口腔外科学
歯科薬物療法	口腔カンジダ症に対する抗真菌薬の臨床効果の適切な判定方法に関する研究—抗真菌薬の臨床効果判定基準作成委員会報告—	金子 明寛	口腔外科学
Clin Rehabil. 2011 Nov 16. [Epub ahead of print]	Immediate effects of electrical stimulation combined with passive locomotion-like movement on gait velocity and spasticity in persons with hemiparetic stroke: a randomized controlled study.	正門 由久	リハビリテーション科学
Clinical Cancer Research	High-Risk Ovarian Cancer Based on 126-Gene Expression Signature Is Uniquely Characterized by Downregulation of Antigen Presentation Pathway	三上 幹男	産婦人科学
頭頸部癌	当科における中咽頭扁平上皮癌の治療成績	大上 研二	耳鼻咽喉科学
Japanese Journal of Radiology	Initial experiment with computed tomographic colonography applied for noncolorectal cancerous condition	市川 珠紀	画像診断学
Experimental and Therapeutic Medicine	Radiation-sensitizing effect of low-concentration docetaxel on human esophageal squamous cell carcinoma cell lines	小澤 壯治	消化器外科学
Clinics and Practice	Hemiplegic peripheral neuropathy accompanied with multiple cranial nerve palsy	大熊 壮尚	神経内科学
JOSKAS	膝蓋骨骨折に対する経皮的ワイヤリングの治療成績	高垣 智紀	整形外科
Gastrointest Endosc	Endoscopic band ligation for colonic diverticular hemorrhage	小俣富美雄	消化器内科学
Practical Radiation Oncology	Analysis of suitable prescribed isodose line fitting to planning target volume in stereotactic body radiotherapy using dynamic conformal multiple arc therapy	國枝 悦夫	放射線治療科学
日本気管食道学会会報	声帯麻痺に対する治療の最前線 声帯麻痺に対する喉頭直達鏡下声帯内方移動術 筋膜声帯内方移動術	大上 研二	耳鼻咽喉科学
臨床整形外科	ラット膝関節内へ移植した細胞シートのBioluminescenceによる経時的評価	佐藤 正人	整形外科
Annals of Surgical Oncology	A Randomized Trial Comparing Postoperative Adjuvant Chemotherapy with Cisplatin and 5-Fluorouracil Versus Preoperative Chemotherapy for Localized Advanced Squamous Cell Carcinoma of the Thoracic Esophagus (JCOG9907)	小澤 壯治	消化器外科学
骨折	小児・若年者の背屈転位した指節骨頸部骨折に対してintrafocal pinningを併用した手術的治療.	池田 全良	整形外科
Radiation Oncology	Incidence of seed migration to the chest, abdomen, and pelvis after transperineal interstitial prostate brachytherapy with loose 125i seeds	國枝 悦夫	放射線治療科学



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Conference Proceedings IEEE Eng Med Biol Soc	Feasibility evaluation of a motion detection system with face images for stereotactic radiosurgery	國枝 悦夫	放射線治療科学
日本大腸肛門病学会雑誌	本邦における便失禁診療の実態調査報告—診断と治療の現状—	貞廣 莊太郎	消化器外科学
Internal medicine	Is mild renal dysfunction a risk factor for carotid atherosclerosis in apparently healthy adults?	高橋 若生	神経内科学
Journal of Cellular Physiology	The relationship between the Wnt/ $\beta$ -catenin and TGF- $\beta$ /BMP signals in the intervertebral disc cell.	檜山 明彦	整形外科
Tokai J Exp Clin Med.	Intramucosal carbon Dioxide Partial pressure Measurement Rescued the Reconstructed Gastric Tube.	金田 徹	麻酔科学
The journal of reproduction and development	Epigenetic assessment of environmental chemicals detected in maternal peripheral and cord blood samples.	和泉俊一郎	産婦人科学
American Journal of Geriatric Psychiatry	Effect of Antidepressants on the Course of Disability Following Stroke	三上 克央	精神科学
Stroke	Increased frequency of first episode poststroke depression following discontinuation of escitalopram	三上 克央	精神科学
The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	Expression of IL-10 and IL-10 receptors on peripheral blood lymphocytes and monocytes in human head and neck squamous cell carcinoma	加藤 久視	口腔外科学
Pancreas	pancreatic ductal adenocarcinoma derived from IPMN and pancreatic ductal adenocarcinoma concomitant with IPMN.	中郡 聡夫	消化器外科学
J Hepatobiliary Pancreat Sci	Surgical treatment of lymph node metastases from hepatocellular carcinoma	中郡 聡夫	消化器外科学
日本救急医学会関東地方会雑誌	救急救命士法第四十四条と高度情報通信ネットワーク社会形成基本法第二十一条の課題	中島 功	救命救急医学
日本臨床救急医学会雑誌	ライフセーバーの事故対応に関する実状と課題—海での溺水事故に対するプレホスピタルケアの意義	猪口 貞樹	救命救急医学
日本口腔診断学会雑誌	特異な炎症像を示した深頸部感染症の1例	加藤 久視	口腔外科学
臨床心臓電気生理	三尖弁輪起源の心房頻拍と稀有型房室結節リエントリー性頻拍を合併した1例	森田 典成	循環器内科学
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Glycolytic Inhibition Causes Spontaneous Ventricular Fibrillation in Aged Hearts.	森田 典成	循環器内科学
Orthopaedic Clinics of North America	Stem cell regeneration of the intervertebral disk	酒井 大輔	整形外科
Critical Care	Severity of community-acquired pneumonia treated with low-dose adjunctive corticosteroid	三上 克央	精神科学
Journal of Infection and Chemotherapy	Guidelines for Diagnosis and Treatment of Anaerobic Infections Chapter 2-10. Anaerobic infections (individual fields): dental and oral infections	金子 明寛	口腔外科学
Clin Neurophysiol	The origin of the premotor potential recorded from the second lumbrical muscle in normal man.	正門 由久	リハビリテーション科学
Keio J Med	Effects of integrated volitional control electrical stimulation (IVES) on upper extremity function in chronic stroke.	正門 由久	リハビリテーション科学
臨床放射線	躯幹四肢領域におけるNBCA塞栓術の治療成績	明神 和紀	画像診断学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法	転移性脊椎腫瘍を契機に肺癌と診断され緩和的放射線治療を行った3症例	中村 雄介	呼吸器外科学
Endocrine Reviews	Development and Function of the Human Fetal Adrenal Cortex: A Key Component in the Feto-Placental Unit	石本 人士	産婦人科学
Medical Practice	最近の抗血栓療法	後藤 信哉	循環器内科学
Nephrol Dial Transplant	ARB protects podocytes from HIV-1 nephropathy independently of podocyte AT1.	松阪 泰二	腎・代謝内科学
日本臨床	特集 幹細胞治療 基礎研究の進歩と臨床応用 III 臨床応用の進歩 8.椎間板再生	持田 謙治	整形外科
医学教育	模擬患者・標準模擬患者(SP)養成のカリキュラム	吉井 文均	神経内科学
日本腹部救急医学会雑誌	気管支喘息発作を併発した特発性食道破裂の1例	千野 修	消化器外科学
Esophagus	Technique of the double channel ESD method performed with an EEMR-tube	島田 英雄	消化器外科学
肩関節	腱板断裂に対する重層固定式mini-open法の治療成績	新福 栄治	整形外科
日本消化器外科学会誌	造影早期相から濃染する慢性ウイルス性肝炎併存肝内胆管癌の切除後に大動脈周囲リンパ節転移を再切除して長期生存中の1例	中郡 聡夫	消化器外科学
29th AIAA International Communications Satellite Systems Conference (ICSSC-2011)	A Proposal on New Ku-band Data Collection System- Built-in Terminal to the Leg Ring of Wild Bird -	中島 功	救命救急医学
血栓と循環	ランダム化比較試験のメタ解析によるアスピリンの1次予防および2次予防効果	後藤 信哉	循環器内科学
Forensic Toxicology	Mixed-mode C-C18 monolithic spin-column extraction and GC-MS for simultaneous assay of organophosphorus compounds, glyphosate, and glufosinate in human serum and urine	斉藤 剛	救命救急医学
Eur J Gastroenterol Hepatol	Diagnostic performance of quantitative fecal immunochemical test and multivariate prediction model for colorectal neoplasms in asymptomatic individuals	小俣富美雄	消化器内科学
Surg Endosc	Risk of local recurrence for early gastric cancer treated with piecemeal endoscopic mucosal resection in 10 years' follow-up	小俣富美雄	消化器内科学
Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	A Case of Peritoneal Dialysis-related Acute Hydrothorax, Which Was Successfully Treated by Thoracoscopic Surgery, Using Collagen Fleece	仁科 良	総合内科学
山梨医学	くしゃみと鼻水の鼻炎に小青竜湯合麻黄附子細辛湯が有効	中島 功	救命救急医学
Heart View	凝固・線溶系を理解する	後藤 信哉	循環器内科学
JOSKAS	反復性膝蓋骨脱臼に対するEmslie-Trillat変法の長期成績	高垣 智紀	整形外科
Nephron Clin Pract.	Clinical Significance of Fibroblast-Specific Protein-1 Expression on Podocytes in Patients with Focal Segmental Glomerulosclerosis.	豊田 雅夫	腎・代謝内科学
Angiology Frontier	抗凝固薬のトピックス	後藤 信哉	循環器内科学
Journal of stroke and cerebrovascular diseases	Relationship between chronic kidney disease and white matter hyperintensities on magnetic resonance imaging.	高橋 若生	神経内科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Reproductive Medicine and Biology	An immunohistochemical study of metroplastic surgical specimens from patients with a septate uterus	和泉俊一郎	産婦人科学
JOSKAS	両膝に発生した樹枝状脂肪腫の一例	高垣 智紀	整形外科科学
International Journal of E-Health and Medical Communications	Cross-Border Medical Care and Telemedicine	中島 功	救命救急医学
関東整形災害外科学会雑誌	大腿骨頸部骨折骨接合術の検討	高垣 智紀	整形外科科学
Annual Review 循環器	CYP2C19遺伝子多型と抗血小板薬の薬効動態	後藤 信哉	循環器内科学
Cardiovasc Drug Ther	Prospective Cohort Study of Gastrointestinal Complications and Vascular Diseases in Patients Taking Aspirin: Rationale and Design of the MAGIC study	松嶋 成志	消化器内科学
World J Gastrointest Endosc	Double-balloon endoscopy-diagnosed multiple small intestinal ulcers in a Churg-Strauss syndrome patient	鈴木 孝良	消化器内科学
診療と新薬	多施設共同オープン臨床試験による慢性蕁麻疹に対するレボセチリジン塩酸塩錠(ザイザル錠)の有用性の検討	加藤 正幸	皮膚科学
Oral Science International	Inverted ductal papilloma arising from the buccal minor salivary gland: A case report and immunohistochemical study	加藤 久視	口腔外科学
Digestive Endoscopy	Type 1 gastric cancer presenting as protein-losing gastroenteropathy and ball-valve syndrome.	加川 建弘	消化器内科学
Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation, Therapy and Technology	Clinical results of a surgical technique using endobuttons for complete tendon tear of pectoralis major muscle: report of five cases	内山 善康	整形外科科学
頭頸部外科	中咽頭癌の再建術と術後機能評価 Gehanno法再建例について	大上 研二	耳鼻咽喉科学
日本創外固定・骨延長学会雑誌	イリザロフ創外固定器を使用した難治性下腿偽関節の治療	内山 善康	整形外科科学
J Nephrol.	Expression of transcription factor Snail and tubulointerstitial fibrosis in progressive nephropathy.	豊田 雅夫	腎・代謝内科学
関東整形災害外科学会雑誌	トリマーの指尖部に生じた毛巣洞に骨髓炎を合併した1例.	池田 全良	整形外科科学
Esophagus	Stapled resection for bronchogenic cyst of the esophagus performed using video-assisted thoracic surgery	小澤 壯治	消化器外科学
Progress of Digestive Endoscopy	胃潰瘍底が脾動脈に穿破して出血を来した1例	松嶋 成志	消化器内科学
成人病と生活習慣病	Vorapaxar	後藤 信哉	循環器内科学
Int J Oncol.	Radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma induces glypican-3 peptide-specific cytotoxic T lymphocytes	中郡 聡夫	消化器外科学
Hand Surgery	Locked metacarpophalangeal joint of the little finger due to hyperextension injury: A case report.	池田 全良	整形外科科学
Shoulder and Elbow	Navigation-assisted debridement arthroplasty for osteoarthritis of the elbow: a preliminary report.	池田 全良	整形外科科学
Hand Surgery	Carpal tunnel syndrome caused by a ganglion in the carpal tunnel with an atypical type of palsy: a case report.	池田 全良	整形外科科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本呼吸器外科学会雑誌	肋骨原発孤立性形質細胞腫の1切除例	中野 隆之	呼吸器外科学
頭頸部外科	喉頭声門上部癌に対する経口的部分切除術	大上 研二	耳鼻咽喉科学
Modern Rheumatology	Amyopathic dermatomyositis developing rapidly progressive interstitial lung disease with elevation of anti-CADM-140/MDA5 autoantibodies	佐藤 慎二	リウマチ内科学
Techniques in Hand and Upper Extremity Surgery	Open reduction and internal fixation for dorsal fracture dislocations of the proximal phalangeal joint using a miniplate.	池田 全良	整形外科
Local and Regional Anesthesia	Use of perfusion index from pulse oximetry to determine efficacy of stellate ganglion block	山崎 一	麻酔科学
Oncology	Phase I / II study of preoperative concurrent chemoradiotherapy with S-1 for locally advanced, resectable rectal adenocarcinoma.	貞廣 莊太郎	消化器外科学
OPTICS Plus ELECTRONICS	レーザー・光技術の整形外科領域への応用と展望	佐藤 正人	整形外科
American Journal of Pathology	Autophagy guards against Cisplatin-induced acute kidney injury	新村 文男	小児科学
JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY	Disseminated mucormycosis infection after the first course of dose-modified R-EPOCH for advanced-stage lymphoma.(published online)	福田 竜基	総合内科学
Biomaterials	Cartilage repair in transplanted scaffold-free chondrocyte sheets using a minipig model	海老原 吾郎	整形外科
頭頸部癌	中咽頭癌におけるヒト乳頭腫ウイルスの関与に関する多施設共同研究	大上 研二	耳鼻咽喉科学
口腔咽頭科	高齢者施設における嚥下内視鏡検査(VE)の検討	大上 研二	耳鼻咽喉科学
慢性疼痛	プレガバリンをめぐる現在の課題と将来への展望	山崎 一	麻酔科学
日本消化器外科学会雑誌	術後7年無再発生存中の胆管癌と膵癌の同時性重複癌の1例	中郡 聡夫	消化器外科学
Injury	Determination of the appropriate catheter length for needle thoracostomy by using computed tomography scans of trauma patients in Japan.	猪口 貞樹	救命救急医学
Am J Physiol Renal Physiol	Glomerular sclerosis is prevented during urinary tract obstruction due to podocyte protection.	松阪 泰二	腎・代謝内科学
International Review of Thrombosis	Current status of ATIS-Regional variation in the treatment	後藤 信哉	循環器内科学
medicina	抗血小板薬	後藤 信哉	循環器内科学
Japanese Journal of Clinical Physiology	Reproducibility of arterial blood gases determined under hypobaric hypoxia in Japanese Himalayan climbers	桑平 一郎	呼吸器内科学
The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine	A Case of Adenomatoid Odontogenic Tumor during Pregnancy	関谷 亮	口腔外科学
Clinical Orthopaedics and Related Research	A Radiographic Classification of Massive Rotator Cuff Tear Arthritis	内山 善康	整形外科
Radiother Oncol	Stereotactic body radiotherapy (SBRT) for oligometastatic lung tumors from colorectal cancer and other primary cancers in comparison with primary lung cancer	國枝 悦夫	放射線治療科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Rehabilitation	乳がん術後リンパ浮腫に対する弾性着衣の着用により問題が生じた一例	児玉 三彦	リハビリテーション科学
喉頭	声帯内自家脂肪注入術	田村 悦代	耳鼻咽喉科学
総合リハ	Duchenne型筋ジストロフィーにおける反復唾液嚥下テストの有用性に関する検討	花山 耕三	リハビリテーション科学

計223

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	猪口 貞樹
管理担当者氏名	廣瀬 利美雄

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 ①病院日誌、②各科診療日誌、③処方せん、④手術記録、⑤看護記録、⑥検査所見記録、⑦エックス線写真、⑧紹介状、⑨退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		①、②伊勢原総務課 ③薬剤部 ④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨診療情報管理課	①、②・・・年度別 ③・・・年度別 ④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨・・・詳細は別紙
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	伊勢原人事課	年度別 処方箋の種類別及び月別
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	伊勢原研究支援課	
	高度の医療の研修の実績 閲覧実績	臨床研修部事務室 伊勢原総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	伊勢原総務課 薬剤部	
	第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九條の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全調査課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器安全管理責任者（診療技術部長）
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	廣瀬 利美雄 (事務部長)
閲覧担当者氏名	石橋 利昭 (総務課長)
閲覧の求めに応じる場所	伊勢原総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.9%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			20,861 人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			17,203 人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			7,691 人
D: 初診の患者の数			52,184 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。



(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。</li><li>2. 医療に係る安全管理のための委員会およびその他医療機関内の組織に関する基本的事項 (1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定な事項を検討するため、各種の委員会並びに分科会を置く。 (2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室）を置き、医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等職種横断的に指導するため専任医療安全管理者を医療安全対策課に配置する。</li><li>3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療安全に係る研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施する。 なお、新規採用、異動、出向終了者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。 (1) 医療安全に関する事項 (2) 感染防止対策に関する事項 (3) 医薬品関連に関する事項 (4) 医療機器関連に関する事項 (5) その他重大な事象が発生した事項</li><li>4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 インシデントやアクシデントが発生した場合は、速やかに規定の様式により、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専任医療安全管理者が検証する。 なお、重要と思われるレポートについては、レポート検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは調査委員会で検証する。</li><li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し指導を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。</li><li>6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 (患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む) 医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境を構築し公開する。 また、患者からの医療の安全管理及び安全対策等についての質問等があれば積極的に情報を開示する。</li><li>7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 患者・家族からの相談に適切に応じる体制を確保するために、総合相談室に相談窓口を設置し、安全管理体制の確保について、関係部署に改善等の指導をする。</li><li>8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 各部署にリスクマネージャを配置し、医療安全管理委員会で決定した医療安全に係る事項を所属員へ周知させる。また、安全情報としてセーフティ・ボックスの発行並びに各種ガイドラインの策定を行い教職員に周知する。</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員構成（委員：30 名、事務局：3 名） 医療監査部長（委員長）、専任医療安全管理者、医師（内科学系・外科学系・専門診療学系）、臨床研修部、看護部（部長、次長、医療安全対策委員）、薬剤部、医薬品安全管理責任者、診療技術部、医療機器安全管理責任者、院内感染対策室、専任院内感染対策責任者、医療機器・呼吸器管理センター、事務（医療監査部、総務課、診療情報管理課、用度管理課、医事課）</li></ol>	

## 2. 医療安全管理委員会の開催状況

実施：平成23年4月11日、平成23年5月9日、平成23年6月13日、平成23年7月11日、平成23年8月8日、平成23年9月12日、平成23年10月11日、平成23年11月14日、平成23年12月12日、平成24年1月10日、平成24年2月13日、平成24年3月12日

## 3. 主な内容

- (1) 提出されたインシデント/アダプトレポートの検討
- (2) 医療に係る医療安全の諸規程の整備
- (3) 重大な問題が発生した事象に対する事故調査委員会の設置
- (4) 重要な対策が必要な事象に対する「RCA（根本原因分析）検討会」の実施
- (5) 医療安全・感染防止セミナーの企画、実施及びセイフティ・トピックスの発行
- (6) 医療安全対策チーム設置の検討
- (7) 東海大学医学部付属病院群への医療安全に関する周知事項の審議
- (8) リスクマネージャー会で検討する事項の審議及びリスクマネージャー会の実施
- (9) 医療安全対策マニュアル及び医療安全基本マニュアル（携帯版）の策定
- (10) 医療安全月間の企画
- (11) 医薬品の安全管理体制及び医療機器の保守点検・安全使用に関する体制の確保について医薬品関連分科会並びに医療機器関連分科会で策定した事項を協議する
- (12) 院内感染防止対策委員会で策定される院内感染対策の体制の確保について連携する
- (13) 厚生労働省への提出事象の分類
- (14) 厚生労働省への医療機器に関する提言事象の抽出
- (15) 前各号に掲げたもののほか委員長が必要と認めた事項

## ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年10回

### ・ 研修の主な内容：

1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成23年4月8日  
「医療安全における組織レジリエンス」「バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）対策」
2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：平成23年5月16日  
「正しいカルテ記載について」「規制医薬品について」「注意 死時のHBV再活性化」
3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：平成23年6月6日  
「カストリジウム腸炎」「医療安全に資する診療記録」  
「術後疼痛管理におけるPCAポンプの運用」
4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：平成23年7月8日  
「転倒転落防止対策（入院生活と転倒）」「当院における褥瘡対策と動向」  
「褥瘡におけるケアの方法と選択」「腸管出血性大腸菌の感染動向」
5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：平成23年9月6日  
「特定看護師（仮称）試行事業の実施施設について（指定）」「接触者健診について」  
「検体紛失・誤搬送防止に関する取組み～検体提出先一覧表の作成～」  
「医薬品安全管理の院内巡視報告」
6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：平成23年10月13日  
「多剤耐性菌の動向と対策」「インシデント/アダプトレポートの記載について」  
「医薬品安全使用のための業務手順書」「呼吸ケアチームについて」
7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：平成23年11月7日  
「感染性廃棄物の取扱について」「暴言、暴力の現状と対応」  
「職種間の連携～退院患者満足度調査結果」
8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：平成24年1月13日  
「適切な気道吸引について」「脳死判定・臓器提供マニュアルの改訂について」  
「病院内での移植コーディネーターとしての役割」「局所陰圧閉鎖療法について」  
「体圧分散マットレスの選択基準と使用方法について」

9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：平成24年2月14日  
「標準予防策の注意点」「内視鏡室における安全対策」  
「呼吸器で用いられる手技について」「2011年度医療安全対策のまとめ」
10. 第10回医療安全・感染防止セミナー（看護部合同報告）：平成24年3月7日  
「医療機器、転倒転落防止、チューブ、内服、検査/患者誤認/リコール、注射/輸血」  
「創感染、呼吸器関連、尿路感染、MRSAサーベランス、血流感染、環境整備、標準予防策、医材」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ) ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. 各年度のレポート報告提出枚数
    - 1)平成11年度：2,892枚 2)平成12年度：5,534枚 3)平成13年度：5,132枚
    - 4)平成14年度：5,179枚 5)平成15年度：5,634枚 6)平成16年度：5,517枚
    - 7)平成17年度：5,398枚 8)平成18年度：5,416枚 9)平成19年度：5,685枚
    - 10)平成20年度：6,064枚 11)平成21年度：6,173枚 12)平成22年度：6,060枚
    - 13)平成23年度：5,263枚
  2. 発生した事故等の医療安全管理委員会への報告  
インシデント/アクシデントレポート取り扱い基準（障害度・影響度）に則り、月別一覧表を作成し、特に検討等が必要な事象を（医療監査部長・次長、専任医療安全管理者）が抽出して、レポート検討会に諮る。  
レポート検討会で検討された対策案等を医療安全管理委員会へ具申している。
  3. 事故等の収集・分析による組織としての改善策の企画立案及びその実施状況の評価と情報の共有
    - (1) 月別にインシデント/アクシデントレポートを各事象（CV関連・気道関連・ドレーン関連・化学療法関連・医療機器関連・転倒転落関連・医薬品関連）ごとに統計・解析し、各種委員会（病院運営会議・診療科長会・診療協議会）、RM会、セミナー等で注意を喚起している。
    - (2) レポート検討会で提案された対策案等を医療安全管理委員会で審議し、さらに検討・対策が必要な事象は、根本原因分析(RCA)・各分野の医療安全対策チーム（CV関連・気道関連・ドレーン関連・医薬品関連・医療機器関連・転倒転落関連・肺血栓塞栓症関連・抗凝固薬服用中止関連・医療KYT）で対策案等を検討している。
    - (3) 上記で検討された対策案等は、各種委員会（病院運営会議・診療科長会・診療協議会）・RM会・セミナー・ヒアリング等で周知している。
  4. 重大事故発生時の病院管理者への報告及び再発防止策（背景要因・根本原因分析）
    - (1) 重大な事故が発生した場合は、手順に従い、速やかに病院長に報告する。また、インシデント/アクシデントレポートとは別に、詳細な事故報告書を24時間以内に提出させ、病院長へ報告している。
    - (2) 事象に応じて、根本原因分析（RCA）・事故調査委員会・事故検証委員会・外部評価委員会を立ちあげ再発防止策を講ずる。
  5. 診療記録等監査  
診療録等の記載から医療過程においてどのような影響があったか。また、診療録記載以外にも、医療の安全や患者満足度、適正な医療の実施などの評価を隔月で6回/年、診療記録等監査として定期開催している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況  有 ( 1名 ) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  有 ( 1名 ) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況  有 ・ 無

- ・ 所属職員：専任（6名：非常勤1名含む）兼任（2名）
- ・ 活動の主な内容：
  1. 医療監査部の事務に関すること。
  2. 医療安全教育の事務に関すること。
  3. 医療安全セミナーの実施運営に関すること。
  4. 医療安全の各種委員会の事務に関すること。
  5. 医療の安全と質の確保に関すること。

- 6. 医療安全レポートに関する事。
- 7. 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関する事。
- 8. カルテ監査の事務に関する事。
- 9. その他医療安全の事務に関する事。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有 ・ 無

## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方          私たち東海大学医学部付属病院において医療に従事する者は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、患者診療における院内感染防止対策のため努力する。</p> <p>2. 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本事項          院内感染防止対策委員会は、「医療法施行規則：平成19年4月1日付け改正公布」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律：いわゆる感染症法」と「医療法」および院内感染対策管理のための施設基準に基づき、東海大学医学部付属病院（以下「病院」という）における病院内感染者の取り扱いおよび管理に関する事項を定め、病院感染による事故の発生を防止し、併せて病院内環境の保全を図ることを目的として設置する。すなわち、本委員会の目的は、病院における院内感染の実情を把握し、その発生・蔓延を防止する対策を立案して、医学部長および病院長にその実施を提言することにある。</p> <p>3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針          (1) 感染対策担当者および感染対策チームは、施設全体の職員（委託業者を含む）を対象として、定期的に院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。新採用職員（途中採用者を含む）において、採用時に随時、院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。          (2) 感染対策担当者は、院内感染の増加が疑われる、あるいは確定した場合、介入の手段として、部署（診療単位）や職種を限定して、院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。          (3) リンクドクターとリンクナースは連携して、各診療領域における一般医療スタッフに対して感染防止対策上の問題認識向上と啓発指導を図る。</p> <p>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針          (1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確立し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。          (2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・病棟看護責任者から感染症患者発生届出書にて、院内感染対策室を経由して、病院長に提出される。          (3) 「感染症法」に規定される届出は、最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。</p> <p>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針          (1) 院内感染の発生動向の監視（サーベイランス）を実施し、動向の分析に基づき、対策を立案し、改善のための方策を実施する（コンサルテーション）。          (2) 院内感染発生時の対応手順を明確化し、文書として「院内感染マニュアル」に記述し、院内感染発生時には迅速に対応できるようにする。</p> <p>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針          院内感染対策のための指針（マニュアル）は、全職員が随時参照できるように、病院情報システム用端末の「掲示板」に掲載してある。また、指針（マニュアル）は、患者が閲覧できるように、病院のホームページにも掲載してある。指針の詳細についての質問があれば、積極的に開示する旨、マニュアルの「序論」に掲載してある。</p> <p>7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のための必要な基本方針          (1) 院内感染対策の推進のために必要な方策を明確化し、文書として「院内感染マニュアル」に記述し、院内感染発生を未然に防ぐ、また発生時に蔓延を防ぐようにする。          (2) 院内感染対策室（院内感染担当者）では、感染症の発生状況を把握し、発生状況で重要な動向や患者発生については、病院全体で情報を共有化するよう情報提供する。</p>	

② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1. 委員の構成（委員：17名、事務局：4名）  院内感染防止対策委員長、委員医師6名（内科学系、外科学系、専門診療学系）、事務局3名、看護部3名、薬剤師1名、栄養科1名、臨床検査技師2名、事務局4名（院内感染対策室）</p> <p>2. 主な内容：</p> <p>(1) 感染症の地域流行などの感染症情報の把握と提供に関すること。  (2) 院内感染発生の監視・疫学調査および情報の提供に関すること。（細菌培養・薬剤感受性などの情報）  (3) 感染症発生の届け出に関する業務およびその情報の保管に関すること。  (4) 病院環境汚染の把握、医薬品や医療機器汚染の監視・指導に関すること。  (5) 抗菌薬・消毒剤の使用状況の把握・適正使用の指導に関すること。  (6) 院内の感染対策や感染制御の立案・実行・評価に関すること。（院内感染対策マニュアル）  (7) 感染対策全般に関するコンサルテーションや指導・教育に関すること。  (8) 院内感染防止対策に係わる経費算定・管理に関すること。  (9) その他、病院長の指示する業務、あるいは委員会決定事項の遂行に関すること。</p> <p>3. 感染対策委員会の開催状況  実施：平成23年4月26日、平成23年5月24日、平成23年6月28日、平成23年7月26日、平成23年8月23日、平成23年9月27日、平成23年10月25日、平成23年11月22日、平成23年12月27日、平成24年1月24日、平成24年2月28日、平成24年3月27日</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>*実施した研修会</p> <p>1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成23年4月8日  「バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）対策」</p> <p>2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：平成23年5月16日  「注意！ケモ時のHBV再活性化」</p> <p>3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：平成23年6月6日  「クロストリジウム腸炎」</p> <p>4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：平成23年7月8日  「腸管出血性大腸菌の感染動向」</p> <p>5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：平成23年9月6日  「接触者健診について」</p> <p>6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：平成23年10月13日  「多剤耐性菌の動向と対策」</p> <p>7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：平成23年11月7日  「感染性廃棄物の取り扱いについて」</p> <p>8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：平成24年1月13日  「適切な気道吸引について（サイトビジットに備えて）」</p> <p>9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：平成24年2月14日  「標準予防策の注意点」</p> <p>10. 第10回医療安全・感染防止セミナー（看護部合同報告）：平成24年3月7日  「創感染、MRSAサーベイランス、尿路感染、環境整備、血流感染、呼吸器関連、標準予防策、医材について」</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 (  有  無 )

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

1. 病院における発生状況の報告等の整備

- (1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確立し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。
- (2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・病棟看護責任者から感染症患者発生届出書にて、院内感染対策室を経由して、病院長に提出される。
- (3) 「感染症法」に規定される届出は、最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。

2. その他の改善のための方策の主な内容

耐性菌発生時の病棟別、診療科別動向調査を行い、薬剤使用状況との解析による各部署へのフィードバック、さらに担当医に対するコンサルテーションや病棟ラウンドによる感染防止対策。

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研修医に対する医薬品関連の講話 (年1回)</li> <li>(2) 新人看護師に対する講義 (年1回)</li> <li>(3) 救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について (毎月)</li> <li>(4) 中央手術室における重点管理薬品の管理について (隔月)</li> <li>(5) 中央手術室における薬品管理について (年1回)</li> <li>(6) 医療安全・感染防止セミナー       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 規制医薬品について</li> <li>② 医薬品安全管理の巡視報告</li> <li>③ 医薬品安全使用のための業務手順書について</li> </ol> </li> <li>(7) 全職員を対象とした「医薬品知識確認のeラーニング」(年1回)</li> </ol>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医薬品の採用審査に伴う薬事委員会への関与 (月1回)</li> <li>② 採用薬品情報・試用薬品情報の発行 (月1回)</li> <li>③ 採用中止情報の発行 (2011/10～2012/9 : 15回)</li> <li>④ 病棟・外来に提数保管されている医薬品の保管および品質管理 (年3回)</li> <li>⑤ 抗がん剤のレジメン管理および混合調製 (毎日)</li> <li>⑥ 持参薬チェックおよび再調剤 (毎日)</li> <li>⑦ 医薬品集および禁忌薬剤集の作成 (年1回)</li> </ol>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医薬品・医療機器等安全情報の発行 (2011/10～2012/9 : 11回)</li> <li>(2) 「効能効果」「用法用量」の追加、変更、削除に関するインフォメーションの発行 (2011/10～2012/9 : 11回)</li> <li>(3) セイフティピックスの発行 (2011/10～2012/9 : 5回)       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 説明と同意が必要な院内製剤って？</li> <li>② スライディングスケールの標準化</li> <li>③ 薬剤禁忌情報の登録を行っていますか？</li> <li>④ 薬剤禁忌情報の確認を行っていますか？</li> <li>⑤ 鎮静薬使用時の注意点</li> </ol> </li> </ol>	



医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>*全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>医療安全・感染防止セミナー</li><li>第3回セミナー 術後疼痛管理におけるPCAポンプの運用について :平成23年6月6日</li><li>第8回セミナー 局所陰圧閉鎖療法について :平成24年1月13日</li><li>第9回セミナー 体圧分散マットレスの選択基準と使用方法について :平成24年2月14日</li><li>第10回セミナー 呼吸ケアで用いられる手技について :平成24年3月7日</li><li>看護部合同活動報告</li></ul> <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>必要に応じて当該部署にて研修を実施</li></ul> <p>研修の主な内容：①有効性・安全性に関する事項 ②使用方法に関する事項 ③保守点検に関する事項 ④不具合が発生した場合の対応 ⑤法令遵守すべき事項</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>計画の策定 (有・無)</li><li>保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>人工心肺装置及び補助循環装置：年1回実施</li><li>人工呼吸器：年2回実施</li><li>血液浄化装置：年2回実施</li><li>除細動装置：年1回実施</li><li>閉鎖式保育器：年1回実施</li><li>診療用高エネルギー放射線発生装置：年4回実施</li><li>診療用放射線照射装置：年2回実施</li></ol></li><li>①動作確認</li><li>②精度確認</li><li>③磨耗・損耗箇所確認</li><li>④安全機構確認</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>医療機器使用時における禁忌情報を“医療安全基本マニュアル（携帯版）”に追加掲載</li><li>医療機器関連分科会の指示のもと医療機器全般の不具合、使用、管理方法等について、医療機器安全対策チームで安全性等について検討している</li><li>外来診療で使用されている未管理医療機器の洗い出しを行い、点検が必要な機器については使用前点検、定期点検を実施するようにした。</li></ol></li></ul>	

## 診療記録等の保管方法

### 1. 診療記録（含むエックス線写真）の保管基準期間（2012年度改定）

- ① 外来カルテ : 最終受診日から10年間とし、死亡患者の場合は14年間とする。
- ② 入院カルテ : 最終受診日から14年間とする。

※ 上記保管期間を過ぎたもので、教育・研究等で必要とする場合は、別に保管する。

### 2. 紙カルテ（電子媒体保管以前分）の保管方法

- ① 外来カルテ : 2005年10月以前分は、全科1フォルダーの患者ID番号ターミナルディジット分類保管とする。
- ② 入院カルテ : 1入退院毎製本の患者IDターミナルディジット分類による分類保管とする。

### 3. エックス線写真類（電子媒体保管以前分）の保管分類方法

- ① 2006年1月以前分は、患者ID番号ターミナルディジット分類による分類保管とする。